

## 第5章 計画の推進に向けて

### 1 生涯学習推進体制

生涯学習推進体制として、各種団体の代表が参加する「生涯学習推進会議」を開催し、活動情報の共有、進捗管理、推進方策などを検討し、施策・事業に反映させます。また、庁内の推進体制として「生涯学習推進部会」を設置し、本市の生涯学習の推進を図ります。

推進組織等	内容
刈谷市生涯学習推進会議	各種団体を代表する者及び学識経験者で構成し、本市における生涯学習の推進を行います。
刈谷市生涯学習推進部会	本市における生涯学習の積極的な推進を図るため、庁内関係課職員で構成し、生涯学習施策・事業の進捗管理や、関係各課間の協議、調整を行い、生涯学習を推進します。

### 2 協働による推進

生涯学習が市民生活の様々な場所において行われ、その方法・内容も社会の状況に応じて変化していく中、生涯学習の効果的な推進のためには、市民、グループ・サークル、関係団体・関係機関、事業者等、幅広い主体が協働していくことが求められます。より充実した生涯学習環境をつくるため、それぞれの役割を明らかにし、それぞれの有する学習資源を生かしながら、協働による推進を図ります。

推進組織等	内容
市民	市民は、主体的に学習や活動に取り組む、本市の生涯学習の主人公です。また、仲間づくり・まちづくりの主体として、よりよい刈谷市をつくっていく活動の担い手となっていくことが期待されます。
グループ・サークル、協会等	グループ・サークルによる学習や活動は、本市の生涯学習の重要な基盤といえます。メンバーの親睦、作品の創作、健康づくりなど、それぞれの活動目的に応じて、活動が充実していくことが期待されます。こうした活動は、単に参加者の楽しみというだけでなく、継続的な仲間づくりを通じて、希薄化しつつある地域のつながりを補完し、助け合いのまちづくりの基盤となることも期待されます。文化協会、音楽協会、レクリエーション協会、スポーツ協会、国際交流協会、観光協会などは、加盟団体の連携と交流を深めるとともに、市と協働して生涯学習環境の充実に取り組むことが期待されます。

推進組織等	内容
地域団体、NPO等	自治会、公民館などの地域団体は、地域課題の解決に向けて、地域住民、グループ・サークル、市など様々な機関・団体と協働し、住みよいまちづくりに取り組んでいくことが期待されます。様々な社会問題に取り組む市民の自主的な活動であるNPOは、その専門性を生かして、よりよいまちづくりにつながる市民の学習・活動の場となることが期待されます。
教育機関	初等・中等教育では、子どもの主体的な学ぶ力を育むとともに、家庭や地域と連携して、子どもの育ちを支えます。大学は公開講座や市と連携した講座を開催するなど、大学がもつ知的資産を広く社会に還元し、市民の生涯学習に資するとともに、学生が研究その他の活動において身近な地域と関わる機会をつくり、地域の活動に貢献していくことが期待されます。
民間教育事業者	カルチャーセンターやスポーツセンターに代表される民間教育事業者は、多様化・高度化する市民の学習ニーズを踏まえ、趣味、教育、文化芸術、スポーツなどの学習機会を提供します。市が主催する講座においては、民間事業者が提供する学習機会との役割の違いを意識した取組が求められます。
事業者	各種の経済活動を営む事業者は、社員研修等の実施において、生涯学習の一つの担い手となっています。また、企業の社会的責任（CSR <sup>※21</sup> ）の一環として、企業関係者の講師による講座の開催や児童生徒の職場体験の受入れなど、市と情報共有や連携を図り、従業員や市民の生涯学習を支援することが期待されます。
市	学習のきっかけづくり、グループ・サークルの活動支援、生涯学習関連施設の管理・運営、学習情報の提供など、市民のニーズや社会の変化を踏まえながら、市民やグループ・サークルが学習・活動しやすい環境をつくります。また、市民、地域団体、グループ・サークル、協会、教育機関、民間教育事業者、事業者などと協働して施策を推進するネットワーク型行政 <sup>※22</sup> に取り組みます。

※21 CSR：Corporate Social Responsibilityの略で、企業の活動において、社会的公正や環境などへの配慮を組み込み、消費者、従業員、投資家、地域社会等の利害関係者に対して責任ある行動をとるとともに、説明責任を果たしていくことを求める考え方。

※22 ネットワーク型行政：広範な領域で行われる学習活動に対して、様々な立場から総合的に支援していく仕組み。

## 3 進捗管理と評価

### (1) 推進状況の把握

---

本計画に関連して実施されている事業について、進捗状況調査を毎年実施し、施策の充実、改善を図ります。また、計画を効果的に推進するため、重点施策として位置付けられた事業については個別に指標を設定し、生涯学習推進会議、生涯学習推進部会において実施状況を確認するなど、進捗管理を行います。

### (2) 計画の評価

---

指標となる数値が計画終了年度の時点でどのように変化しているかによって目標の達成度を測り、各施策及び重点施策についての進捗状況調査による事業の実績と合わせて、本計画を評価します。数値だけでは評価が難しい取組の状況も含めて、生涯学習推進会議で状況を報告し、事業の改善の必要性等についての意見を受けて、施策の改善を図ります。

### (3) 計画の見直し

---

社会状況の変化に対応するため、次期刈谷市総合計画の動向を踏まえ、計画期間の途中においても、重点施策を中心に必要に応じて計画の見直しを実施します。見直しにあたっては、生涯学習推進会議の意見を聴取し、その反映に努めるとともに、生涯学習推進部会において必要な調整を行うものとしします。

### (4) 目標指標の設定

---

本計画の進捗評価にあたり、数量的な側面からの評価を可能とするよう、次のとおり目標指標を定めます。目標指標は、分野別施策の柱である基本方針ごとに設定するものとし、重点施策については、目標指標の中から特に関連が深いものを抽出したり、他に重点施策に関連する指標を取り上げて指標とします。

なお、事業の評価にあたっては、指標を用いた数量的な評価だけではなく、本計画の基本理念・基本方針に照らした事業の趣旨や、社会的な役割といった質的な側面からの評価も行うものとしします。

### ①基本方針1 人づくりに向けた学習支援

指標	単位	現状値 (令和5年度)	中間年目標 (令和11年度)	最終年目標 (令和16年度)
生涯学習を行っている市民の割合※	%	39.5	55.0	60.0
市民講座受講者数	人	1,394	1,500	1,600
大学連携講座受講者数	人	273	300	300
小学生以下の子ども1人あたりの児童書貸出数	点	33.6	35.0	38.0
高齢者教室受講者数	人	512	530	550
公民館活動事業数	件	133	133	133

※2年に1度実施する「市民意識調査(市民アンケート)」結果より「生涯学習を行っている」に「はい」と回答した割合。なお、現状値は令和4年度調査の結果。

### ②基本方針2 仲間づくりに向けた活動支援

指標	単位	現状値 (令和5年度)	中間年目標 (令和11年度)	最終年目標 (令和16年度)
ボランティアや地域活動、自主活動などに参加したことがある市民の割合※	%	43.5	47.0	50.0
グループ・サークル等名簿登録団体数	団体	96	100	105
市民講座から創設されたグループ・サークル数	団体	5	5	5
学習発表会参加団体数	団体	73	80	85

※2年に1度実施する「市民意識調査(市民アンケート)」結果より「ボランティアや地域活動、自主活動などに参加したことがある。(例 自治会活動、消防団活動、サークル活動、避難訓練や運動会などの地区のイベントへの参加など)」に「はい」と回答した割合。なお、現状値は令和4年度調査の結果。

### ③基本方針3 生涯学習を通じたまちづくりの推進

指標	単位	現状値 (令和5年度)	中間年目標 (令和11年度)	最終年目標 (令和16年度)
地域活動やボランティア活動が活発だと思える市民の割合※	%	55.4	59.0	62.0
生涯学習指導者名簿登録者数	人	128	140	160
地域学校協働活動回数	回	809	1,000	1,200
放課後子ども教室参加者数	人	19,049	20,000	20,000
生涯学習リーダー研修修了者数	人	9	12	15

※2年に1度実施する「市民意識調査(市民アンケート)」結果より「刈谷市は、地域活動やボランティア活動が活発であると思う」に「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。なお、現状値は令和4年度調査の結果。

#### ④基本方針4 誰もが参加しやすい生涯学習の環境整備

指標	単位	現状値 (令和5年度)	中間年目標 (令和11年度)	最終年目標 (令和16年度)
「生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備」に対する市民満足度※	%	28.6	34.0	39.0
講座配信サービスの利用者数	人	—	20	100
市民1人あたりの図書貸出数	点	8.5	10.0	11.0
市民ホール利用者数	人	224,471	250,000	280,000
生涯学習センター利用者数	人	229,881	250,000	280,000
生涯学習情報サイト「よかよかガイド」アクセス数	件	19,958	22,000	25,000

※2年に1度実施する「市民意識調査(市民アンケート)」結果より「生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備」に「満足」または「やや満足」と回答した割合。なお、現状値は令和4年度調査の結果。

#### ⑤重点施策

指標	単位	現状値 (令和5年度)	中間年目標 (令和11年度)	最終年目標 (令和16年度)
情報提供の強化・充実				
市民講座受講者数【再掲】	人	1,394	1,500	1,600
生涯学習センター利用者数【再掲】	人	229,881	250,000	280,000
生涯学習情報サイト「よかよかガイド」アクセス数【再掲】	件	19,958	22,000	25,000
ICTを活用した学習機会の提供				
講座配信サービスの利用者数【再掲】	人	—	20	100
ICTに関する講座受講者数	人	107	120	130
電子図書館の貸出点数	点	6,257	16,000	18,000
地域学校協働活動の推進				
地域学校協働活動回数【再掲】	回	809	1,000	1,200
放課後子ども教室参加者数【再掲】	人	19,049	20,000	20,000
多様な主体との協働事業の推進				
指導者向け講座参加者数	人	31	40	50
市民講師企画講座実施数	件	10	11	12
NPO、事業者等との連携講座実施数	件	—	1	3